



千葉県市原市 I様邸



有限会社 ヤスタ建硝

代表取締役 安田和範氏 千葉県市原市

現場調整では細部にまで配慮を

■
当社は主にアルミサッシの販売・施工を手がけていますが、昨今のガーデニングブームを反映してニーズが高まっているウッドデッキへの対応にも、今後力を入れていきたいと考えています。木材はやさしく温かみのある質感が人気のポイント。また、施工する側にとっては加工しやすい点も魅力です。ただし、仕上がりをよりよいものにするためには、図面をよく確認し、現場を前もって下見して、製品に加工がどのくらい必要かを見極めておくことが大切です。そして施工の際には、使い勝手を考慮してステップの位置を微調整するなど、細かい部分にまで気を配るように努めています。

設計のポイント —— デッキとテラスを一体化させたオリジナル設計

デッキの奥行きを半分を覆うテラスが 実用性と快適性を高める

このお住まいのウッドデッキは当社の最初の施工実例です。住宅は築6年ほど経っていますが、庭への出入りをスムーズにする、お子さんの遊び場として活用する、という2つの目的で、庭に新たにウッドデッキを設けられました。施主様の要望で、テラスと一体化させた特注のオリジナル設計で仕上げています。大きな特長は、まずテラスの柱とフェンスを同じ面につなげて一体化したこと。それによってすっきりと見栄えのよい仕上がりとなり、スペースを無駄にしない使い勝手のよさを実現しました。また、雨をしのぐために設置したテラスは、デッキ全体ではなく、奥行きを半分を覆う大きさのものを選択して開放感を確保。実用性と快適性が高まりました。お子さんの遊び場としてだけでなく、アウトドアリビングとしても大いに活用されているようです。